

お茶の水女子大学での留学体験

ダーラナ大学
イサ・ランサル

お茶の水女子大学に留学した半年間は、とても楽しく過ごせました。私は以前、日本を旅行したり、二年前に一度東京に留学したりしたこともありましたが、今回の留学では、これまでにしたことのない体験をしたり、行ったことのない場所を訪れたりして、多くの新しい経験をすることができました。

留学の前は、再び東京で生活できるようになることがとても嬉しく、日本語をたくさん勉強したいと考えていました。しかし、お茶の水女子大学での留学生活を通して、世界中から来た留学生と出会い、新しい友達ができ、多くの大切な思い出を作ることができました。また、日本語はもちろん、人との関わり方や様々な国の文化、そして自分の国についても学ぶことができました。

私は日本語専攻なので、日本語の授業だけを受講していましたが、お茶の水女子大学には、文法、漢字、読解などだけでなく、教科書にはない日本語や日本の文化について学ぶ授業もたくさんありました。例えば、小学校で交流会をしたり、日本での就職についてのセミナーに参加したりするなど、面白くて役に立つ活動が多かったです。

また、先生方もとても優しく、教え方も分かりやすく、毎日楽しく学ぶことができました。クラスの人数が少なかったため、先生やクラスメイトとたくさん話すことができたのも、とても良かったと思います。授業以外にも、様々な行事があり、学園祭や日本文化の教室、言語カフェ、留学生向けの交流イベントなど、楽しいことがたくさんありました。

お茶の水女子大学に入学したのは、昨日のことのようですが、この半年はあっという間に過ぎてしまいました。短い時間でしたが、一生忘れられない経験になりました。支えてくださったお茶の水女子大学の先生方や職員の皆さん、そして留学生の友達のおかげで、充実した留学生活を送ることができました。心から感謝しています。